

の事例に学ぶ～

この視察の成果を伊奈町に活かしたいと思います。

総務建設産業常任委員会

- 視察地 福島県南会津町・会津美里町
- 視察日 平成30年10月3日・4日



南会津町新庁舎のキッズスペース



会津美里町新庁舎（複合施設）現場建設中

庁舎の建て替え

南会津町の新庁舎は、南会津町産の11種類の木材を利用した木の香りとぬくもりのある庁舎でした。建設に当たっては、南会津町業者育成のため、すべて地元業者が対応したとのことでした。外壁材に金属サンドイッチパネルを採用し、外断熱を実現しています。地中熱

ヒートポンプや太陽光パネルなど再生可能エネルギーに配慮しました。キッズスペースや障がいをもつておられる方によるカフェなどが設けられていました。新庁舎の建設事業費は、25億8千3百万円です。

会津美里町新庁舎は、現在、建設中である複合庁舎機能を西側に、公民館機能を東側に配置し、東西に伸びるモールではないだシンプルで分かりやすい平面構成で、自然や環境と調和した経済的な施設です。防災機能は、バックアップエネルギー等を設置しています。新庁舎の建設事業費は、36億5千万円です。

伊奈町においては、北庁舎の老朽化が進み、建て替えの検討が必要となっているため、この度、南会津町新庁舎および建設中の会津美里町の庁舎について調査研究することができました。

視察報告 ～先進地

2つの常任委員会が各々視察に行きました。

文教民生常任委員会

- 視察地 神奈川県川崎市・静岡県函南町 かんなみ
- 視察日 平成30年10月18日・19日

**大規模校における問題点と
解決策について**

川崎市立西中原中学校は、各学年12クラスの大規模中学校です。大規模中学校の問題を解決するために、部活動では限られた敷地を、ローテーションを組んだり、近くの小学校の体育館や多摩川のグラウンド等を借りるなどの工夫をしています。

日頃から生徒が埋没しないように、一人ひとりを大切に、きめ細やかな教育相談も行っています。他に、合唱コンクールや体育祭などで、卒業生の交流を図ったり、卒業生を含む、地域人材も積極的に活用したりしています。

**児童生徒数増減に伴う
問題点と解決策**

静岡県函南町には、小規模校と大規模校とが併存しています。小規模校では、遠足等の行事を2学年で活動したり、幼稚園と合同で運動会を開催したりしています。また、他の学校との交流もさかんです。大規模校では、パソコンでの情報共有を

行い、多様な生徒に対して、きめ細かな対応を心がけています。また、教育支援センターが別動隊として、いろいろな悩み相談にも対応しています。他には、入学前の小学校の合同授業も実施しています。



川崎市立西中原中学校の広い校庭



函南町の役場で